

令和 7 年度第 1 回日野町地域公共交通会議

令和 7 年 6 月 23 日（月）

15 時 00 分～17 時 00 分

日野町林業センターホール

出席委員

国土交通省近畿運輸局滋賀運輸支局、滋賀県土木交通部交通戦略課（委員代理）、滋賀県東近江土木事務所、東近江警察署交通課（委員代理）、日野町区長会、日野町老人クラブ連合会、社会福祉法人日野町社会福祉協議会、一般社団法人滋賀県バス協会、一般社団法人滋賀県タクシー協会、近江鉄道株式会社鉄道部、近江鉄道株式会社自動車部、近江タクシー株式会社、日野町副町長、日野町政策監、日野町産業建設主監、日野町厚生主監

出席関係人

甲賀市建設部公共交通推進課 担当者

事務局

交通環境政策課

欠席者

日野町身体障害者更生会、日野町教育委員会、東近江市都市整備部公共交通政策課 担当者（出席関係人）

議事要旨

1. あいさつ（堀江町長）

2. 委員自己紹介

3. 会長・副会長の選出

・会長は日野町副町長、副会長は日野町社会福祉協議会の委員を選出

4. 運賃協議分科会委員および分科会長の指名

- ・会長から滋賀運輸支局、日野町区長会、日野町社会福祉協議会、近江鉄道自動車部、近江タクシー、日野町政策監の各委員を指名し、委員長には、日野町政策監を指名

5. 協議事項

(1) 日野町地域公共交通計画の変更について

- ・日野町地域公共交通計画の変更箇所について事務局より説明

【質問・意見】

○会長

- ・新旧対照表の変更後は、令和7年4月からの位置づけでよいか。

○事務局

- ・お見込みの通りである。前年度の3月31日をもって廃止となり、4月1日からとなる。

○会長

- ・湖南サンライズ線は廃止のため削除、AI オンデマンド交通は湖南サンライズ線の代わりということか。

○事務局

- ・湖南サンライズ線は3月31日で廃止となり、その代わりとしてチョイソコひのが運行している。

○会長

- ・試行段階ではまだこの計画には反映しないのか。

○事務局

- ・実証実験では計画には反映していない。

○会長

- ・今回のこの計画の変更が、後程の補助金の申請と関係してくるのか。

○事務局

- ・お見込みの通りである。今回の変更については、6月30日までに変更した計画をホームページに掲載する。変更した計画をもって国庫補助金の申請との整合性を国が確認する。

⇒協議事項(1)について出席委員全員承認

(2) 令和 7 年度地域間幹線系統確保維持費補助金の計画変更に伴う変更認定申請について

- ・ 令和 7 年度の申請に係る日野町地域公共交通計画の別紙の変更箇所及び変更理由を事務局より説明

【意見・質問】

○委員

- ・ 委員から今回の変更認定申請にあたっての補足説明

○会長

- ・ 8 月 1 2 日、1 3 日の平日ダイヤの運行を、日祝ダイヤで運行を行うということか。

○事務局

- ・ お見込みの通りである。

○会長

- ・ 運行ダイヤを変更すると費用等の変更が発生するため、変更の修正を行うということか。

○事務局

- ・ お見込みの通りである。

⇒協議事項 (2) について出席委員全員承認

(3) 令和 8 年度地域間幹線系統確保維持費補助金の認定申請について

- ・ 事務局から資料に基づき説明

(4) 令和 8 年度地域内フィーダー系統確保維持費補助金の認定申請について

- ・ 事務局から資料に基づき説明
- ・ 甲賀市から「チョイソコひの」を甲賀市地域公共交通計画に位置付けていない理由およびその旨について、日野町地域公共交通計画別紙に記載されている内容について相違がないことを説明
- ・ 東近江市からの「チョイソコひの」を東近市地域公共交通計画に位置付けていない理由およびその旨について、日野町地域公共交通計画別紙に記載されている内容について相違がないことを事務局が代読

【意見・質問】

○副会長

- ・ 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の定量的な目標について、令和 6 年度は行政負担額となっているが、令和 7 年度、令和 8 年度は財政負担額となっているが違いはあるのか。

○事務局

- ・行政負担額にて統一する。

○副会長

- ・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金について、事業の目標で利用者数が増えているのに対し、目標の収支率が4.7%で変わっていないのはどうか。

○事務局

- ・収支率の計算としては運賃収入を運行経費で除して算出している。令和7・8年度で収支率が変わっていないのは、本来であれば運行回数や運行台数が増加すると運行経費が上がるため収支率が下がるが、目標値の算定において乗合率を現在の1.2から1.5を目標としているため、この乗合率を保つことで運行経費の上昇分を吸収し収支率を維持していくためである。

○副会長

- ・日八線について、令和4年度が利用者数198,786人で収支率が43.2%に対し、令和6年度実績では利用者数が204,332人、収支率が37.48%となっている。令和8年度の目標値は利用者数219,000人、収支率47%としているが達成できるか疑問である。令和10年度の目標値も利用者数328,000人、収支率51.1%としており、根本的に考えていかなければならないと思う。

○事務局

- ・収支率は令和6年度は令和4年度の数值より下がっているが、利用者数は令和4年度よりも増加している。支出は主にハード面や維持費の増加が考えられるため、それらが抑えられれば達成できる可能性がある。
- ・各数値は近江鉄道から提供されたものを挙げている。令和6年度の収支率はバスに搭載している運賃箱が新札や新硬貨に対応できるよう改修した。その他昨今の物価高騰により経費が増加している。そのため利益が上がったとしても経費が上回ったためである。

○会長

- ・令和10年度の幹線系統補助金の計画について、令和8年度と令和9年度は計画実車走行キロが同じ数字だが、令和10年度は計画実車走行キロが増えている。これは走る距離を増やすということか。

○事務局

- ・計画実車走行キロは暦が関係しており、令和8年度と令和9年度は平日ダイヤの数と休日ダイヤの数と同じであり、計画実車走行キロも同じであったが、令和10年度は閏年のため1

日増加し、その分計画実車走行キロも増加している。

⇒協議事項(3)および(4)について出席委員全員承認

○事務局

- ・これまでの協議事項に関する国の指摘事項の修正は、会長一任でお願いします。

6. 報告事項

(1) チョイソコひのおよび日野町公共ライドシェアの停留所変更・名称変更・廃止について

○事務局

- ・設置場所が変更となった停留所、名称が変更された停留所及び町内の主要な観光地を設定した公共ライドシェア限定の停留所の報告

(2) 日野町地域公共交通計画施策・事業・数値目標の評価について

○事務局

- ・日野町地域公共交通計画施策の数値目標（令和10年度）と令和6年度時点での現状値、日野町地域公共交通計画に掲げている地域公共交通活性化施策（19事業）の実施状況・課題・次年度の方針について報告

(3) 日野町内の公共交通の現状について

○事務局

- ・事務局より図面に基づき今後のチョイソコひのの拡大区域等について説明

以上